

●**標本** ●**解說** ●**紐結** ●**包物** ●**教授法** 全一冊 石井泰次郎著

禮節故實に堪能なる石井氏が普く古來の傳書雜形を收容し其種類の可否選擇につこめ其使用法の誤まれるを正し部類を分配し以て此技藝の容易に習得せらるゝ目的にて著述せられたるもの、美麗高尚なる標本數十種に添ふるに懇篤丁寧なる教授法一冊を以てす禮節教授の任に當れる人々の唯一の參考書たるは云ふまでもなく各自の家庭に於ても是非一本を備へて可なり(定價標本とも一圓五十錢 發賣所 嵩山房)

●**遊戯雜誌**第一號(月一回) 日本遊戯調査會發行
先月二十五日を以て新に發刊せるもの、欄を分ちて講話、學校遊戯、家庭遊戯、高等遊戯、史傳、雨中談育談、彙報等となせり、吾人は此の如き眞面目なる本誌の將來大に健全たる發達をなさん事を祈る(定價一冊 十錢)

婦人衛生雜誌百四十二號 うらにしき百七號 家庭九號
女子の友九十八、九號 女鑑二百三十四、五、六、七號 令德第三卷六、七號 をんな八號 考古界第一篇四號 哲學雜誌百七十五號 東京府教育雜誌百四十一號 東京市教育時報十二號 教育學術界第三卷五號 日本之小學教師第三十三號 あげほの四號 教育時論五百八十九、九十、九十一號 姫百合第四卷二 兒童研究第四卷五 婦人新報五十三號

注意! 新刊寄贈の節は必ず本會宛名を附

して御送附有之度候

會報

一、幹事更迭 前任幹事神門ども子氏辭任せられしに付き小關せい子氏に依頼して承諾を得たり。

一、幹事會 先月廿二日女子高等師範學校附屬幼稚園内に開き本月開會すべき本會常會に付きて諸般の打ち合はせをなせり。出席者中村主幹 清水鶴子 雨森鋤子 林文子 松村久子 稻石泰子 小關せい子 羽田晴子の八氏なりき。

入會

東京ノ部

- 四谷區荒木町二七 高橋いち
- 日本橋區小舟町二ノ二 塚越くが
- 淺草區千束町二ノ一四〇 淺井はつ
- 小石川區餅差町三四 石川ふき
- 麴町區四番町一四 相馬宗孝
- 小石川區原町一三三 伊澤丑三
- 麴町區平河町四ノ一三 御厨守忠
- 牛込區南横町一九 尾崎勝巳

一金壹圓十錢	一金壹圓	一金壹圓	一金壹圓	一金壹圓二十錢	一金壹圓二十錢	一金壹圓	一金四拾錢	一金四拾錢	一金六拾錢	一金六拾錢	一金五拾錢	一金壹圓二十錢	一金壹圓	一金五拾錢	一金六拾錢	一金壹圓	一金壹圓
自三十四年三月	自三十四年五月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年七月	自三十四年七月	自三十四年七月	自三十四年七月

室地えい	龜岡つき	緒方きく	大桑いよ	飯野ふく	久芳龍藏	村山つれ	野尻てつ	小谷野千代	澤村きみ	中川よね	大島小春	田邊はる	新開み枝	安達けい	富岡むつ	吉田まさ	瀬野梅代	望月くに
------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

一金壹圓十錢	一金壹圓	一金三拾錢	一金壹圓	一金壹圓	一金壹圓	一金壹圓	一金五拾錢	一金三拾錢	一金五拾錢	一金三拾錢	一金五拾錢	一金壹圓	一金壹圓	一金壹圓	一金三拾錢	一金壹圓	一金壹圓	一金壹圓	
自三十四年五月	自三十四年三月	自三十四年七月	自三十四年七月	自三十四年七月	自三十四年七月	自三十四年七月	自三十四年八月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年十二月	自三十四年四月	自三十四年四月	自三十四年四月	自三十四年四月	自三十四年十月	自三十四年十月	自三十四年十月

石山ひさ	御厨守忠	尾崎勝巳	相馬宗高	伊澤丑三	手塚不二夫	淺井はつ	勝田すみ	菌田うめ	野澤あい	喜多見さき	吉武しょう	中村五六	武藏むめ	越智きみよ	太田ため
------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	-------	------

追而本文中誤認脱漏等有之候節は乍御面倒御一報下されたく候